## 令和5年度 財政状況資料集

## 総括表(市町村)

dats 1	古衣(巾罩	111/		1						I	区分	令和5年度(千円)	令和4年度(千円)	区分		令和5年度(千円·%)	令和4年度(千円·%)
	都道府県名	佐	賀県	市町	T村類型	IV -	-2	指定団体等	の指定状況	歳入総額		13, 017, 610	10, 530, 965	実質収支比率		0.0	3. 9
								財政健全化等	×	歳出総額		12, 931, 224	10, 203, 119	経常収支比率		92. 4	89. 8
								財源超過	×	歳入歳出き	<u> </u>	86, 386	327, 846	(※1)		( 92.6 )	( 91. 2
	市町村名	吉野	ヶ里町	地方交	<b>E付税種地</b>	2	-3	首都	×	翌年度に総	w越すべき財源	86, 067	131, 676	標準財政規模		5, 036, 302	5, 034, 669
								近畿	×	実質収支		319		財政力指数		0. 51	0. 52
		令和2年国調(人						中部	×	単年度収支	Ž.	-195, 851		公債費負担比率		13. 8	14. 5
	人口	平成27年国調(人			Ĕ	産業構造(※5)		過疎	×	積立金		7, 346		健全化判断比率			
		増減率 (%)	-0.5	_	T.()	A TEO 左回 ==	T +07 - F	山振	×	繰上償還金		0	0	実質赤字比率		0. 00	
		令06.01.01(人) うち日本人(。	16, 188 人) 15, 940		区分	令和2年国調 382	平成27年国調 398	低開発 指数表選定	0	積立金取削 実質単年原		210, 000 -398, 505	0 -183, 154			8.9	8. 9
		令05.01.01(人)	16, 228	9	第1次	4. 8	5. 1	伯奴孜选足		天貝半十月	E4X.X	-396, 303	-103, 134	実質公債費比率 将来負担比率		0.9	0.9
住	民基本台帳人口 (※7)	うち日本人(		-		2, 175	2, 221			基準財政収入額		2, 241, 398	2, 275, 153				
		増減率 (%)	-0.2	9	第2次	27. 2	28. 4			基準財政制		4, 411, 952	4, 353, 297	RETAIL (MI)			
		うち日本人(				5, 429	5, 189			標準税収力		2, 829, 423	2, 877, 562				
	面積 (km²)	1	43. 99	9	第3次		66. 5			-	E当一般財源等	4, 843, 696	4, 594, 639				
人口密度(人/k㎡)			371				L			歳入一般則		6, 040, 423	5, 863, 027				
1	世帯数 (世帯)		6, 137														
				職員の	状況 (※8	3)								1			
	区分	定数	1人あたり平均			区分	職員数	給料月額	1人あたり平均	地方債現在	高	7, 040, 503	7, 711, 868	Ī			
	E7	AC AX	給料月額(百円)	— 般		巨刀	(人)	(百円)	給料月額(百円)	うち公的	的資金	6, 196, 887	6, 848, 348				
	市区町村長	1	7, 500	職	一般職員		134	411, 782	3, 073	-	E高(臨時財政対策債除き)	3, 971, 169	4, 318, 692	1			
特 別	副市区町村長	1	6, 000	- 等		肖防職員	-	-		-	· 方為額(支出予定額)	1, 879, 333	663, 497				
職	教育長	1	5, 250			支能労務職員	-	-		収益事業収		-	-				
等	議会議長	1	3, 100 2, 500	6	教育公科		6	20, 525	3, 421	土地開発基		321, 527	321, 274	<b>,</b>			
	議会副議長議会議員	1 10	2, 330	_	臨時職 合計	R.	142	437, 973	3, 084	積立金	財政調整基金減債基金	2, 501, 549 1, 136, 455	2, 605, 203 1, 133, 376				
	概女贼臭	10	2, 330		ラスパイ	レス指数	142	437, 873	96. 8	現在高	その他特定目的基金	7, 619, 347	6, 187, 625				
					,,,,,,,	- 711130	L		00.0	<u>I</u>	(4)1619元日的是正	7, 010, 017	3, 107, 020	1			
一般: 項番	会計等の一覧	会計名	事業 項番	会計の一	-覧	会計名		公営企業 (法適) 項番	の一覧 会計名		公営企業(法非適)の一 項番 3	覧 ≩計名	関係する一部事務 項番	且合等一覧 組合等名	地方公社・第 項番	三セクター等一覧 団体名	(*3)
	一般会計	X1111			康保険特別:			快田	Z 11 12		(4) 簡易水道特別会計	X 81 7D	(7) 佐賀中部広域道		供田	四件石	(%3)
(1)	— NX XX AT		(2)	画氏键点	求体陕村加:	云町					(4) 简勿水坦特別去訂		(7) 佐貝中部仏域以	EG (一般安計)			
			(3)	後期高調	龄者医療特.	別会計					(5) 下水道特別会計		(8) 佐賀中部広域返	重合 (介護特別会計)			
											(6) 工業用地造成事業特別	会計	(9) 佐賀県後期高齢	命者医療広域連合(一般会計)			
													(10) 佐賀県後期高齢	命者医療広域連合(後期高齢者医			
														<b>E業団 (用水供給事業会計)</b>			
										(12) 佐賀東部水道』	E業団 (水道事業会計)						
										(13) 脊振共同塵芥魚	L理組合						
													(14) 三神地区環境等	<b>『務組合</b>			
													(15) 佐賀県市町総名	合事務組合 (一般会計)			
													(16) 佐賀県市町総名	合事務組合(交通災害事業特別会			
											· #1)						

<sup>(</sup>注釈) ※1・経常収支比率の()内の数値は、「減収補環債(特例分)」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2:各会計の一覧は主な会計 (10会計まで) を記載している。
※3:地方公共団体が損失補編等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
※3:地方公共団体が損失補編等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に〇印を付与している。
※4:資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5:産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6:個人情報保護の販売のた、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「一人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(\*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(一)としている)。
※7:人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本が最に含載されている人口に基づいている。
※8:職員の状況については、調査対象年度の地方公務負給与実態調査に基づいている。

佐賀県吉野ヶ里町

## (1) 普通会計の状況(市町村)

歳入の状況(単					地方税の状況 (単位 千円・%)					
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分		
也方税	2, 387, 311	18. 3	2, 387, 311		普通税	2, 375, 579	99. 5			
地方譲与税	58, 928	0.5	58, 928	1.1	法定普通税	2, 375, 579	99. 5			
<b>利子割交付金</b>	673	0.0	673	0.0	市町村民税	1, 060, 116	44. 4			
配当割交付金	7, 813	0.1	7, 813	0. 1	個人均等割	30, 264	1.3			
株式等譲渡所得割交付金	8, 817	0.1	8, 817	0. 2	所得割	752, 593	31.5			
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	63, 582	2. 7			
也方消費税交付金	415, 047	3. 2	415, 047	7. 9	法人税割	213, 677	9.0			
ゴルフ場利用税交付金	-	-	-	-	固定資産税	1, 115, 647	46. 7			
寺別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	1, 077, 933	45. 2			
自動車取得税交付金	349	0.0	349	0.0	軽自動車税	64, 636	2. 7			
圣油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	135, 180	5. 7			
自動車税環境性能割交付金	4, 823	0.0	4, 823	0. 1	鉱産税	-	·  -			
去人事業税交付金	43, 270	0.3	43, 270	0.8	特別土地保有税	-	-			
也方特例交付金等	22, 658	0. 2	22, 658	0.4	法定外普通税	-	-			
地方特例交付金	22, 251	0. 2	22, 251	0.4	目的税	11, 732	0.5			
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補塡特別交付金	407	0.0	407	0.0	法定目的税	11, 732	0.5			
也方交付税	2, 373, 741	18. 2	2, 170, 554	41.5	入湯税	11, 732	0.5			
普通交付税	2, 170, 554	16.7	2, 170, 554	41.5	事業所税	-	-			
特別交付税	203, 187	1.6		-	都市計画税	-	-			
震災復興特別交付税	_	-	-	-	水利地益税等	-	-			
一般財源計)	5, 323, 430	40.9	5, 120, 243	97. 9	法定外目的税	-	-			
	2, 485	0.0	2, 485	0.0	旧法による税	-	-			
<b>}担金・負担金</b>	104, 981	0.8	_	-	合計	2, 387, 311	100.0			
<b>使用料</b>	124, 775	1.0	5, 185	0.1						
F数料	28, 665	0. 2	_	-						
国庫支出金	1, 209, 989	9.3	-	_	区分	令和5年度		令和4年度		
国有提供交付金(特別区財調交付金)	50, 823	0.4	50, 823	1.0	徴収率 現 合計	99. 8	99. 5	99.8 99.		
耶道府県支出金	1, 507, 592	11.6	_	-		99. 8	99. 4	99.7 99.1		
は産収入	44, 002	0.3	880	0.0	(%) 年 純固定資産税	99. 8	99. 4	99.8 99.		
寄附金	3, 667, 102	28. 2	_	-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,					
操入金	404, 627	3. 1	_	-	公営事業等への繰出	国民健	康保険事業会計	の状況		
	228, 846	1.8	_	-		実質収支		17, 80		
	148, 498	1.1	51, 047	1.0	下水道 259,376	再差引収支		8, 63		
 地方債	171, 795	1.3		-	宅地造成 16,964	加入世帯数(世帯	)	1, 63		
うち減収補塡債(特例分)	· -	-	_	-	上水道 3,047	被保険者数(人)		2, 44		
うち臨時財政対策債	11, 295	0.1	-	-	簡易水道 2,809	☆/□除孝 「保防	食税(料)収入額	10		
裁入合計	13, 017, 610	100.0	5, 230, 663	100.0	国民健康保険 99,390		支出金			
					その他 451,946	│ 1人当り	食給付費	470		

(注釈) 普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、 単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

		歳出の	)状況(単	位 千円・%)			
			出の状況				
	区分	決算額(A)	構成比	(A)のうち普通延	設事業費	(A)のうちst	E.当一般財源等
議会		82, 479	0.6		-		82, 479
総務		4, 816, 230	37. 2		95, 658		991, 486
民生		2, 788, 752	21.6		74, 133		1, 382, 066
衛生		760, 131	5. 9		5, 440		620, 293
労働		10, 051	0.1		-,		51
	水産業費	1, 133, 468	8.8		899, 012		211, 444
商工		371, 313	2. 9		99, 343		263, 604
土木	費	733, 586	5. 7		332, 036		509, 149
消防	費	394, 131	3.0		54, 463		334, 241
教育	費	900, 451	7.0		31, 300		716, 532
災害	復旧費	61, 207	0.5				9, 571
公債	費	879, 425	6.8		-		833, 121
諸支	出金	_	-		-		_
前年	度繰上充用金	-	-		-		-
歳出	合計	12, 931, 224	100.0		1, 591, 385		5, 954, 037
		性質別歳		(単位 千円・%)			
	区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充		経常収支比率
	的経費計	4, 081, 822	31.6	2, 655, 075		2, 532, 824	48. 3
人	件費	1, 338, 616	10.4	1, 210, 231		1, 207, 783	23. 0
	うち職員給	823, 968	6.4	732, 550		-	-
	助費	1, 863, 781	14. 4	611, 723		491, 920	9. 4
公	債費	879, 425	6.8	833, 121		833, 121	15. 9
١. ١	元利償還金	879, 425	6.8	833, 121		833, 121	15. 9
内	うち元金	843, 160	6. 5	801, 703		801, 703	15. 3
訳	うち利子	36, 265	0.3	31, 418		31, 418	0. 6
	一時借入金利子	7 400 040				- 010 070	
	他の経費	7, 196, 810	55. 7	2, 993, 359		2, 310, 872	44. 1
	件費	3, 478, 340	26. 9	1, 140, 078		743, 045	14. 2
	持補修費	48, 338	0.4	27, 844		25, 238	0.5
柵	助費等	1, 172, 489	9. 1	997, 534		843, 963	16. 1
40	うち一部事務組合負担金 出金	647, 260	5. 0	623, 944		588, 958	11. 2 13. 3
		830, 485	6.4	745, 846		698, 225	13. 3
	立金 資・出資金・貸付金	1, 636, 757 30, 401	12. 7 0. 2	81, 656 401		401	0.0
	貝 · 山貝並 · 貝刊並 年度繰上充用金	30, 401	0. 2	401		401	0.0
	中及麻工兀用亚 的経費計	1, 652, 592	12. 8	305, 603			
汉具	うち人件費	15, 965	0.1	15, 964			
-	普通建設事業費	1, 591, 385	12. 3	296, 032			
	ョ 通姓政争未見 うち補助	1, 044, 044	8. 1	39, 592			
内	うち単独	532, 199	4. 1	249, 423			
訳	災害復旧事業費	61, 207	0.5	9, 571			
	失業対策事業費	- 01, 207	0.0	3,371			
歳出		12, 931, 224	100.0	5, 954, 037			
成山	II RI	12, 301, 224	100.0	J, 3J4, UJ/			

## (2) 各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率(市町村)

一般会計等の財政状況(単位:百万円)

歳出 形式収支 実質収支 地方債 現在高 1 一般会計 13,018 12,931 405 7,041 86 実質赤字額

※一般会計等(純計)は、各会計の相互間の繰入・繰出等の重複を控除したものであり、各会計の合計と一致しない場合がある。

公営企業会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 繰入見込額	資金不足 比率	備考
1 国民健康保険特別会計	1,628	1,610	18	18	9	-	-	-	
2 後期高齢者医療特別会計	236	231	5	5	66	-	-	-	
3 簡易水道特別会計	4	3	1	1	3	-	-	-	法非適用企業
4 下水道特別会計	740	713	27	28	156	2,361	1,619	-	法非適用企業
5 工業用地造成事業特別会計	21	21	0	-	0	150	-	-	法非適用企業
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18									
19									
20									
21									
22									
23									
24									
25									
26									
27									
28									
29									
30									
31									
32									
33									
34									
35									
nt 公営企業会計等				51		2,511	1,619		

関係する一部事務組合等の財政状況(単位:百万円)

一部事務組合等名	総収益 (歳入)	総費用 (歳出)	純損益 (形式収支)	資金剰余額 /不足額 (実質収支)	他会計等 からの 繰入金	企業債 (地方債) 現在高	左のうち 一般会計等 負担見込額	備考
1 佐賀中部広域連合(一般会計)	5,646	5,513	133	184	149	3,823	182	
2 佐賀中部広域連合(介護特別会計)	33,882	32,690	1,192	1,140	5,281	-	-	
3 佐賀県後期高齢者医療広域連合(一般会計)	124	119	5	5	40	-	-	
4 佐賀県後期高齢者医療広域連合(後期高齢者医療特別会計)	138,788	136,779	2,009	1,914	1,048	-	-	
5 佐賀東部水道企業団(用水供給事業会計)	2,450	2,079	371	3,221	9	-	-	
6 佐賀東部水道企業団(水道事業会計)	2,380	2,346	34	2,662	34	-	-	
7 脊振共同塵芥処理組合	764	746	18	18	38	-	-	
8 三神地区環境事務組合	1,766	1,716	51	46	162	700	49	
9 佐賀県市町総合事務組合(一般会計)	2,773	2,573	200	200	13	-	-	
10 佐賀県市町総合事務組合(交通災害事業特別会計)	23	18	6	6	5	-	-	
11 神埼市・吉野ヶ里町葬祭組合	65	58	7	7	1	-	-	
12 佐賀県東部環境施設組合	11,041	10,984	58	57	0	-	-	
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計 一部事務組合等				9,460		4,523	231	

(3ヵ年平均)

実質公債費比率 ((A)-((B)+(D)))/((C)-(D))×100

地方公社・第三セクター等の経営状況及び地方公共団体の財政的支援の状況(単位:百万円)

地方公社・第三セクター等名

経常損益 | 純資産又は 当該団体 からの 出資金

令和5年度 佐賀県吉野ヶ里町

					<u> </u>	
+						
+						
						<del>                                     </del>
						-
1						
+						<b>-</b>
+						-
+						
+						<del>                                     </del>
+						<b>—</b>
+						
+						
1						
+						
+						
1						
+						$\overline{}$
+						-
1						
+						
+						
						<b>—</b>
+						
			i		1	1
也方公社・第三セクター等						

実質公債費比率 (=	F円·%)								45	<b>歼来負担比率</b>	(千円・%)				
											****				
区分	令和3年度	令和4年度		分母比		区分	令和3年度			分母比	内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比
元利償還金	946,911	912,066	879,425	20.7	将来負担額	一般会計等に係る地方債の現在高	8,399,242	7,711,868	7,040,503	166.1	PFI事業に係るもの	-	-	-	
減債基金積立不足算定額	-	-	-	-		債務負担行為に基づく支出予定額	32,373	6,579	235,428	5.6	いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	
進 満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-		公営企業債等繰入見込額	2,096,857	1,839,175	1,619,491	38.2		-	-	-	
元 公営企業債の元利償還金に対する繰入金	294,540	319,055	269,597	6.4		組合等負担等見込額	245,920	205,528	230,607	5.4	債 森林総合研究所等が行う事業に係るもの	4,247	-	-	
利 組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	50,375	43,576	35,172	0.8		退職手当負担見込額	431,222	436,889	435,429	10.3	切 地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	
還 債務負担行為に基づく支出額(公債費に準ずるもの)	16,081	9,935	30,027	0.7		設立法人等の負債額等負担見込額	-	-	-	-	担 依頼土地の買い戻しに係るもの	-	-	-	
金一時借入金の利子	-	-	-	-		うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	_	_	-	-	行 社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	
合計 (A)	1,307,907	1,284,632	1,214,221		1	連結実質赤字額	_	_	-	-	損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	
内訳	令和3年度	令和4年度	令和5年度	分母比		組合等連結実質赤字額負担見込額	-	-	-	-	引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	
PFI事業に係るもの	-	-	-	-		合計 (E)	11,205,614	10,200,039	9,561,458		その他上記に準ずるもの	28,126	6,579	235,428	5.
いわゆる五省協定等に係るもの	-	-	-	-	充当可能	充当可能基金	7,825,096	9,040,305	10,365,034	244.6	下水道特別会計	2,096,857	1,839,175	1,619,491	38.
唐 国営土地改良事業・森林総合研究所等が行う事業に係るもの	7,854	4,135	-	-	財源等	充当可能特定歳入	472,828	392,022	291,094	6.9	簡易水道特別会計	-	-	-	
務 地方公務員等共済組合に係るもの	-	-	-	-		基準財政需要額算入見込額	7,794,581	7,383,401	7,159,846	168.9	企業債等 繰入見込額 工業用地造成事業特別会計	-	-	-	
負 社会福祉法人の施設建設費に係るもの	-	-	-	-		合計 (F)	16,092,505	16,815,728	17,815,974		林八元之假				
行 損失補償・債務保証の履行に係るもの	-	-	-	-	将来負担比	率((E)-(F))/((C)-(D))×100	-	-	-		その他の会計	-	-	-	
為 引き受けた債務の履行に係るもの	-	-	-	-			l .				地方道路公社に係る将来負担額	-	-	-	
その他上記に準ずるもの	8,227	5,800	30,027	0.7							公社・土地開発公社に係る将来負担額	-	-	-	
利子補給に係るもの	-	-	-	_	侹	全化判断比率 令和5年度 早期健全	化基準 財	改再生基準			三セク等 地方独立行政法人に係る将来負担額	-	-	-	
特定財源の額 (B)	74,063	64,783	46,304		実質	[赤字比率 0.00	14.98	20.00			その他第三セクター等に係る将来負担額	-	-	-	
標準財政規模 (C	5,122,623	5,034,669	5,036,302		連約	吉実質赤字比率 -	19.98	30.00		I.					
算入公債費等の額 (D)	865,579	816.887	797.925			位公債費比率 8.9	25.0	35.0							
(C)-(D)	4,257,044	4,217,782	4,238,377			· 自担比率 -	350.0								
実質公債費比率 (単年度)	8.7	9.6	8.7						I						
天貝公頂貝比学 ((A)-((P)+(P))) / ((C)-(P)) × 100	-														

## (3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

16, 188 人(R6. 1. 1現在) 0.00 うち日本人 15, 940 人(R6.1.1現在) 連結実質赤字比率 43. 99 8.9 実 質 公 債 費 比 率 13, 017, 610 入載 千円 将来負担比率 ж # 4 12, 931, 224 千円 R01 IV-2 R02 IV-2 R03 IV-2 実 質 収 支 319 手四 R04 IV-2 R05 IV-2 5 036 302 千円 地方債現在高 7, 040, 503 千円

● 当該団体値
● 類似団体内平均値
▼ 類似団体内の
■ 最大値及び最小値

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。

※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。

※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、全和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準(国との比較)」の「ラスパイレス指数」については、各調査対象年度の 地方公務員給与実施調査に基づいている。

## 財政力 財政力指数 [0.51] 1.50 1.20 0.90 0.60 0.54 0.55 0.53 0.52 0.52 0.51 0.30

R03

R04

R05

R01

R02

### 類似団体内順位 全国平均 佐賀県平均 23/59 0.48 0.50

#### 財政力指数の分析欄

基準財政収入額、基準財政需要額がともに減少したことにより単年度指数は前年度より0.015ポイント低下し、3ヶ年平均の財政力指数についても前年度から0.01ポイント低下している。

全国平均や県平均よりも上回っているものの、類似団体内の平均を下回っているため、今後より一層の行財政改革を推進し、企業の誘致活動や定住促進事業等による税収の確保を図り、財政力の強化に努める。



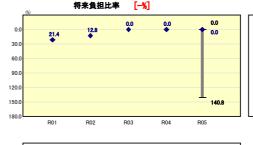
#### 類似団体内順位 全国平均 佐賀県平均 45/59 93.1 91.8

#### 経常収支比率の分析機

着似团体内槽位

地方交付税をはじめとした経常収入は前年度より増加しているが、人件 費、補助費、負担金等の経常支出も増加しており経常収入の増加分を上 回っている。これらの影響により経常収支比率は前年度から2.6ポイント後 退し924%となった。

公債費や人件費、物件費等の経常経費削減に努める一方、町税や住宅 使用料の徴収強化等による歳入の確保を図る。



将来負担の状況

## 類似団体内膜位 全国平均 佐賀県平均

6.3

令和5年度

充当可能財源等控除後の将来負担額は今年度もマイナスのため、将来 負担比率は「算定なし」となっている。新庁舎建設事業やごみ処理施設建 設事業、既存の施設の更新や解体撤去等により比率の上昇が懸念される ため、当該事業に限らず実施事業の適正化を図り、財政の健全化に努め る。

佐賀県吉野ヶ里町



## 43/59 変質公債費比率の分析欄

類似団体内順位

3ヶ年平均の実質公債比率は前年度に引き続き8.9%となっているが、依然として類似団体平均値を上回っている状況にある。建設物価の高騰する中、新庁舎建設をはじめとする大規模建設事業や公共施設の更新・改修が控えているため、より有利な起債の選択や施設管理計画の精査等により指揮の抑制に努める。

佐賀県平均

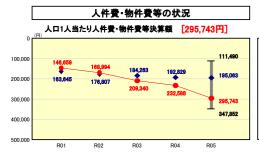


### 類似団体内領位 全国平均 佐賀県平均 27/59 8.32 7.93

#### 人口1,000人当たり職員数の分析欄

前年度は定年前退職による突発的な職員滅があり、新規採用による職員 数の十分な確保ができていなかったが、採用職員数の増および退職者数 の滅により前年度から0.14ポイント上昇している。

今後も適切な定員管理に努める。



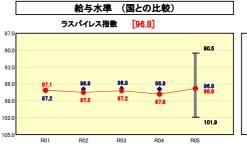
## 人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析機

ふるさと納税の増収に伴い、昨年度と同様に返礼品や委託料等も増加しており、前年度に比べて63,155円の増となっており類似団体平均を100,680円上回る295,743円となっている。

158,103

佐賀県平均

173.977



### **類似回体内順位 全国市平均 全国町村平均** 28/59 98.6 96.3

#### ラスパイレス指数の分析欄

階層間変動により、前年度97.8に対し今年度は96.8となっている。引き続き国の給与水準との均衡を図りながら給与の適正化に努める。

## (4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和5年度

佐賀県吉野ヶ里町

13.3

佐賀県平均

佐賀県平均

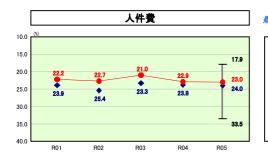
74.8

## 経常収支比率の分析



当該団体値 ◆ 類似団体内平均値 類似団体内の 最大値及び最小値

- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については 各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



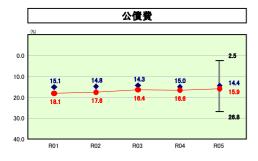
#### 類似団体内順位 全国平均 佐賀県平均 25.5 23.6

人件費に要する経常収支比率は前年度を0.1ポイント上回る 23.0%となった。類似団体平均は上回っているものの、人件費は増 加傾向にあるため引き続き適切な定員の管理に努める。



#### 類似団体内順位 全国平均 佐賀県平均

自立支援給付や障害児通所支援等の経常一般財源を充当する 歳出が増加傾向にあることから、前年度に比べ0.8ポイント増加。 全国平均や県内平均は下回っているものの、依然として類似団体 平均を上回る数値は続いているため、制度の改正等による給付費 の動向に注視するとともに単独扶助や独自加算等を見直すなど経 費の抑制に努める。



## 類似团体内順位

42/59

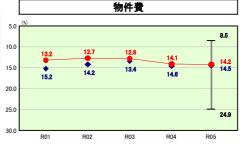
前年度に比べ0.7ポイント減少し15.9%となった。償還額の大部分 は普诵交付税措置対象であるものの、平成27年度以降、類似団 体平均を毎年上回っているため、元金据置期間や償還期間の短 縮による借入利子の抑制、民間資金等の繰上償還などに取り組 み公債費の抑制に努める。

全国平均

150

佐賀県平均

17.0



## 24/59

佐賀県平均

## 物件費の分析権

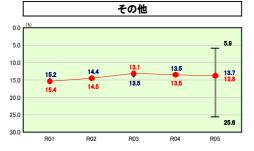
ふるさと納税の増収に伴う寄附礼品や経費の増により前年度に 比べ0.1ポイント上昇している。システムの使用料や各種リース料も 増加傾向にあるため、業務の改善・効率化を図り経費の抑制に努



## 34/59

佐賀県平均 12.8

一部事務組合の運営に係る負担金の増により前年度から2.0ポ イント増加し16.1%となった。今後も組合への運営費負担金等によ り増加が見込まれるため一部事務組合の運営状況等を注視し、補 助費等の抑制に努める。



## 類似団体内順位

温浴施設や町営住宅などの公立施設の老朽化等による維持補 修費の増加によりその他の経常一般財源充当経費は増加。前年 度に比べて0.3ポイント上昇している。今後、施設管理計画の精査 により維持補修費等の抑制を図る。

全国平均



地方交付税をはじめとする経常収入の減や公債費を除く経常一 般財源充当経費の増加により前年度に比べて3.3ポイント上昇し 76.5%となっている。全国平均よりも下回っているものの県平均や 類似団体平均よりも上回っているため、行政経費の効率的な運営 を図り、経費の削減に努める。

全国平均

77.2

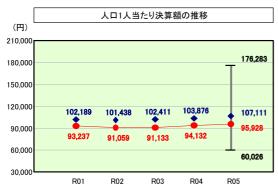


## (4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

# 人件費及び人件費に準ずる費用の分析 → 当該団体値 → 類似団体内平均値 (円)

類似団体内の

最大値及び最小値



## 人件費及び人件費に準ずる費用

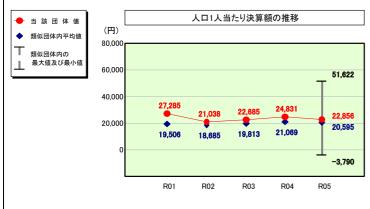
	当該団体決算額		人口1人当たり決算額	Į.
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	1, 338, 616	82, 692	93, 942	<b>▲</b> 12.0
一部事務組合負担金(補助費等)	252, 962	15, 627	12, 590	24. 1
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	-	1	461	-
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	_	24	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	39, 098	2, 415	3, 962	<b>▲</b> 39.0
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	15, 965	986	1, 657	<b>▲</b> 40.5
▲退職金	<b>▲</b> 93, 766	<b>▲</b> 5, 792	<b>▲</b> 5, 526	4. 8
合計	1, 552, 875	95, 928	107, 111	<b>▲</b> 10.4

## 参考

	当該団体	類似団体平均 :	对比(左引)
人口1,000人当たり職員数(人)	8. 77	9. 30	<b>▲</b> 0.53
ラスパイレス指数	96. 8	96. 8	0.0

(注)人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。

## 公債費及び公債費に準ずる費用の分析



## 公債費及び公債費に準ずる費用 (実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額		額	
	(千円)	当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額(繰上償還額等を除く)	879, 425	54, 326	49, 869	8. 9
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	_	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	-	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	269, 597	16, 654	14, 647	13. 7
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	35, 172	2, 173	2, 417	▲ 10.1
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	30, 027	1, 855	490	278. 6
一時借入金利子 (同一団体における会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	2	-
▲特定財源の額	<b>▲</b> 46, 304	<b>▲</b> 2,860	<b>▲</b> 2, 755	3. 8
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	<b>▲</b> 797, 925	<b>▲</b> 49, 291	<b>▲</b> 44, 075	11. 8
合計	369, 992	22, 856	20, 595	11.0

## (参考) 普通建設事業費の分析

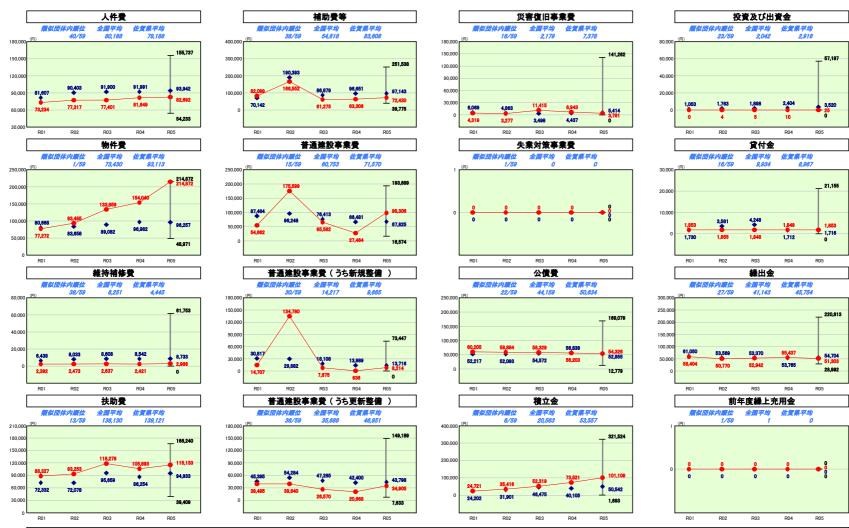


## 普通建設事業費

		当該団体決算額		J	.ロ1人当たり決算客	Ą	
		(千円)	当該団体(円)	増減率(%)(A)	類似団体平均(円)	増減率(%)(B)	(A) – (B)
R01		884, 817	54, 662	196. 4	87, 464	19. 0	177. 4
	うち単独分	674, 665	41, 679	284. 1	47, 479	10. 2	273. 9
R02		2, 839, 260	175, 599	221. 2	96, 248	10. 0	211. 2
	うち単独分	2, 334, 645	144, 390	246. 4	55, 768	17. 5	228. 9
R03		1, 064, 338	65, 562	<b>▲</b> 62. 7	76, 413	<b>▲</b> 20.6	<b>▲</b> 42.1
	うち単独分	477, 184	29, 394	<b>▲</b> 79.6	39, 658	<b>▲</b> 28.9	▲ 50.7
R04		445, 684	27, 464	▲ 58.1	66, 481	<b>▲</b> 13.0	<b>▲</b> 45. 1
	うち単独分	233, 767	14, 405	<b>▲</b> 51.0	36, 120	▲ 8.9	<b>▲</b> 42.1
R05		1, 591, 385	98, 306	257. 9	67, 825 39, 417	2. 0	255. 9
	うち単独分	532, 199	32, 876	128. 2	39, 417	9. 1	119. 1
過去5年間平均		1, 365, 097	84, 319	110. 9	78, 886	<b>▲</b> 0.5	111. 4
	うち単独分	850, 492	52, 549	105. 6	43, 688	<b>▲</b> 0.2	105.8



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



## 性質別慮出の分析機

- ・歳出決算総額は住民一人あたり798,815円(+170,080円)となっている。
- ・物件費、普通建設事業費、貸付金、公債費、扶助費、積立金が類似団体平均値を上回っている。
- ・ふるさと納税の増収に伴い、ふるさと応援寄附返礼品等の物件費、ふるさと応援寄附金基金への積立金は増加し続けている。
- ・新庁舎建設事業が始まっているため、普通建設事業費に関しては増加傾向にある。



- ※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
- ※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登載されている人口に基づいている。
- ※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和5年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



### 目的別蔵出の分析機

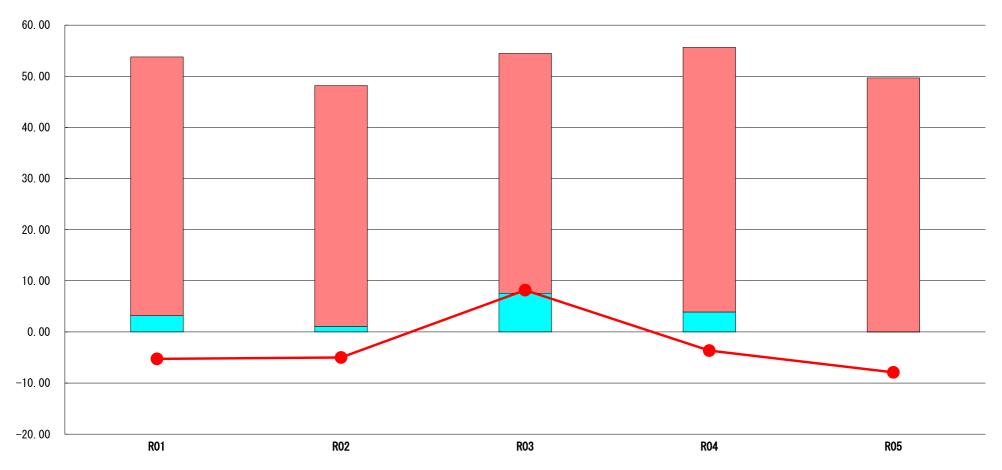
- ・総務費は、ふるさと納税の増収に伴い、ふるさと応援寄附金基金積立金やふるさと納税寄附礼品が増加したことを主たる要因として、類似団体平均を上回っている。
- ・農林水産業費は、共同乾燥施設の竣工に伴う補助金や水路整備等工事により増加し、類似団体平均を上回っている。
- ・消防費は、消防団詰所等の建替工事により増加し、類似団体平均を上回っている。

## (7) 実質収支比率等に係る経年分析(市町村)

令和5年度

佐賀県吉野ヶ里町

## 標準財政規模比(%)



## 標準財政規模比(%)

<b>年度</b>	R01	R02	R03	R04	R05
財政調整基金残高	50. 61	47. 11	46. 91	51. 75	49. 67
実質収支額	3. 18	1. 07	7. 57	3. 90	0. 01
実質単年度収支	▲ 5.27	▲ 5.01	8. 17	▲ 3.64	▲ 7.91

## 分析欄

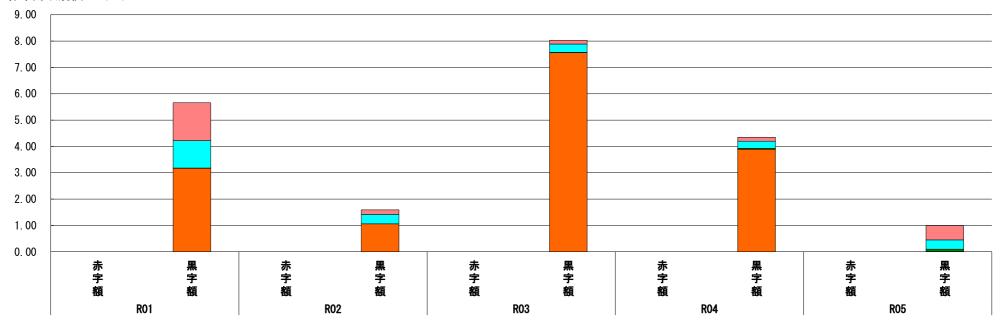
財政調整基金残高は、歳出全般の経常経費の増加により 210,000千円を取り崩し、残高は103,654千円減少。標準財政規 模に対する財政調整基金残高比率も2.08ポイント低下している。 実質収支比率は昨年度から3.89ポイント低下して0.01%、実質 単年度収支は財政調整基金の取り崩しによりマイナスとなり ▲7.91%となった。町税等の適切な財源確保により、健全な行 財政運営に努める。

## (8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析(市町村)

令和5年度

佐賀県吉野ヶ里町

標準財政規模比(%)



標準財政規模比(%)

年度 会計	R01	R02	R03	R04	R05
下水道特別会計	1.44	0. 17	0. 14	0. 15	0. 54
国民健康保険特別会計	1.04	0. 36	0. 32	0. 27	0. 35
後期高齢者医療特別会計	0. 01	0.00	0.00	0. 04	0. 09
簡易水道特別会計	0.00	0.00	0. 01	0. 00	0. 01
一般会計	3. 17	1.06	7. 56	3. 89	0. 00
工業用地造成事業特別会計	0.00	0.00	0.00	0. 00	0. 00
その他会計 (赤字)	_	-	-	_	-
その他会計 (黒字)	_	-	-	_	-

## 分析欄

連結実質赤字比率は、全会計において実質赤字額及び資金不足額 が発生していないため、算出されていない。

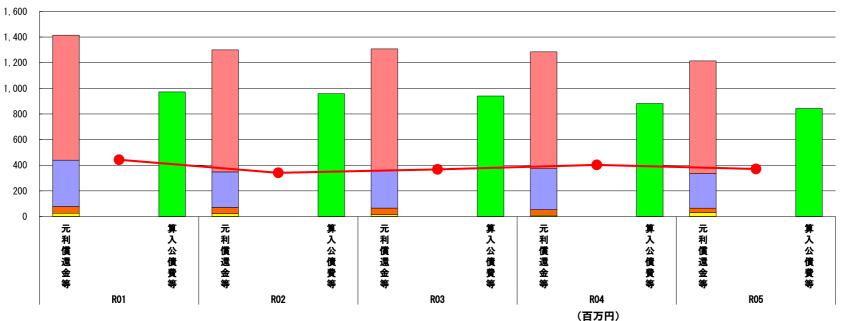
今後も、対象会計それぞれについて赤字決算とならないよう、引き続き、健全な財政運営に努める。

## (9) 実質公債費比率 (分子) の構造 (市町村)

令和5年度

佐賀県吉野ヶ里町

## (百万円)



分子の構造	年度	R01	R02	R03	R04	R05
元利償還金等(A)	元利償還金	975	952	947	912	879
	減債基金積立不足算定額※2	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	ı	_	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	362	277	295	319	270
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	52	49	50	44	35
	債務負担行為に基づく支出額	26	22	16	10	30
	一時借入金の利子	ı	-	-	-	-
算入公債費等(B)	算入公債費等	972	959	940	882	843
(A) - (B)	━━ 実質公債費比率の分子	443	341	368	403	371

## 分析欄

債務負担行為に基づく支出額は増加したものの、元利償還金等全体では前年度に比べて71百万円の減となった。

算入公債費等のうち普通交付税に算入された元利償還金は、町営住宅使用料の減収により特定財源の額が減少し、算入公債費等は39百万円の減となっている。

引き続き交付税措置のある有利な起債を活 用するとともに、町営住宅の維持管理費の抑 制に努め住宅使用料の公債費充当率の引き上 げを図る。

<sup>※</sup> 減債基金積立不足算定額=(C) × (1-(D)/(E))

(参考)						(百万円)
	年度	R01	R02	R03	R04	R05
減債基金 積立状況等(注)	満期一括償還地方債に係る実質償還額又は理論償還額のいずれか少ない額(C)					
	前年度末減債基金残高(D)					
	前年度末減債基金積立相当額(E)					

## 分析欄

満期一括償還地方債は発行していない。

減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

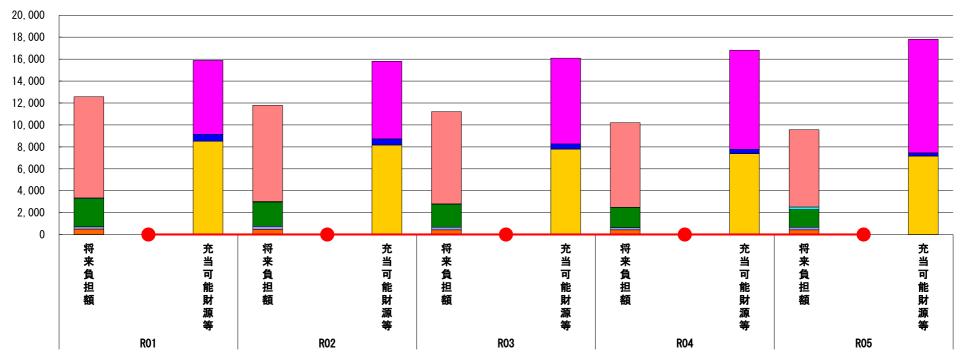
<sup>(</sup>注) 減債基金のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源に係るもののみを記入。

## (10) 将来負担比率 (分子) の構造 (市町村)

令和5年度

佐賀県吉野ヶ里町

(百万円)



(百万円)

分子の構造	年度	R01	R02	R03	R04	R05
	一般会計等に係る地方債の現在高	9, 218	8, 769	8, 399	7, 712	7, 041
	債務負担行為に基づく支出予定額	71	49	32	7	235
	公営企業債等繰入見込額	2, 569	2, 211	2, 097	1, 839	1, 619
	組合等負担等見込額	202	280	246	206	231
将来負担額(A)	退職手当負担見込額	507	475	431	437	435
	設立法人等の負債額等負担見込額	-	1	1	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額	-	1	1	-	-
	連結実質赤字額	-	1	1	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額	=	-	-	-	=
	充当可能基金	6, 730	7, 079	7, 825	9, 040	10, 365
充当可能財源等(B)	充当可能特定歳入	640	561	473	392	291
	基準財政需要額算入見込額	8, 513	8, 165	7, 795	7, 383	7, 160
(A) — (B)	将来負担比率の分子	▲ 3,316	<b>4</b> , 021	<b>4</b> , 887	<b>▲</b> 6, 616	<b>▲</b> 8, 255

## 分析欄

将来負担額のうち、一般会計の地方債現在高は定期償還額が新規発行額を上回ったため減少。下水道特別会計における地方債現在高や退職手当負担見込額等も減少したこともあり、組合等負担等見込額の微増はあったものの全体的な将来負担額は前年度に比べ640百万円の減となった。

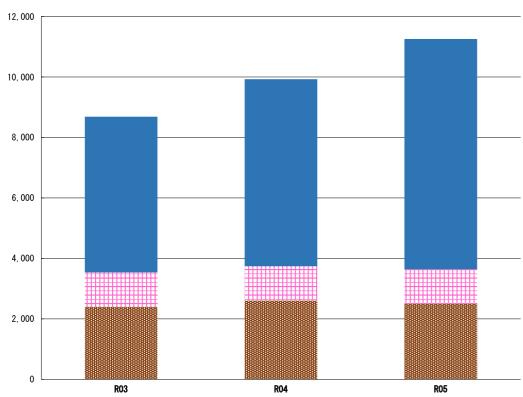
将来負担額から控除する充当可能財源等のうち、基準 財政需要額算入見込額は事業費補正算入額の減などによ り減少。充当可能特定歳入は住宅使用料の減収により減 少。一方、ふるさと応援寄附金基金等の基金残高の増に より、充当可能財源等全体では前年度に比べて1,001百 万円の増となっている。

令和5年度も将来負担額を充当可能財源額が上回った ため分子はマイナスとなっている。

今後も、持続可能な財政運営のため歳出全般にわたって行財政改革に取り組み、財政の健全化に努める。

## (11) 基金残高(東日本大震災分を含む)に係る経年分析(市町村)

## (百万円)



(百万円)

				(87777
区分	年度	R03	R04	R05
	財政調整基金	2, 403	2, 605	2, 502
	減債基金	1, 130	1, 133	1, 136
	その他特定目的基金	5, 154	6, 188	7, 619
	吉野ヶ里町ふるさと応援寄附金基金	1, 433	2, 408	3, 845
	吉野ヶ里町公用及び公共用施設建設基金	1, 425	1, 430	1, 391
	吉野ヶ里町合併振興基金	1, 177	1, 181	1, 184
	吉野ヶ里町東脊振温浴施設維持整備基金	386	399	414
	吉野ヶ里町振興基金	326	327	328
	基金残高合計	8, 687	9, 926	11, 257

令和5年度

佐賀県吉野ヶ里町

## 基金全体

(増減理由)

里山ふれあい広場の整備事業や定住奨励事業、学校給食費補助等により「ふるさと応援寄附金基金」を97,632千円取り崩し、統合庁舎建設 整備事業に「公用及び公共用施設建設基金」を42,570千円取り崩した。

積立は、ふるさと応援寄附金の増収により返礼品等の事業に要した経費を控除した1,534,533千円を「ふるさと応援寄附金基金」に積み立てている。

取り崩し総額404,611千円に対して、1,636,757千円を積み立てたことにより、基金全体としては1,331,147千円の増となった。

(今後の方針)

今後の新庁舎建設事業や町の中心地づくり事業といった大規模事業にあわせて、基金の使途の明確化を図るべく既存の基金の整理に着手している。

## 財政調整基金

(増減理由)

基金運用利子や決算剰余金を106,346千円積み立てたものの、歳出超過のため210,000千円を取り崩している。

(今後の方針)

今後は町単独事業の増加により財政調整基金の残高は減少していく見込み。

### 減債基金

(増減理由)

基金運用利子3,079千円を積み立てたことにより増加。

(今後の方針)

新庁舎建設後、合併特例債や下水道事業債の償還財源として取り崩しを行う予定。

## その他特定目的基金

(基金の使途)

公用及び公共用施設建設基金:公用及び公共用施設の建設事業費 合併振興基金:本町における町民の連帯強化及び地域振興を図るための事業 東脊振温浴施設維持整備基金:東脊振温浴施設の維持整備に要する事業

(増減理由)

ふるさと応援寄附金基金:ふるさと応援寄付金から返礼品等の事業に要した経費を控除した1,534,533千円を積み立てたことにより増加。 公用及び公共用施設建設基金:統合庁舎建設整備事業に要する費用として42,570千円取り崩したことにより減少。

(今後の方針)

公用及び公共用施設建設基金:統合庁舎建設整備事業の財源として一定程度の取り崩しを行うほか、その後の個別施設計画等に基づく公共 施設の改修事業の財源として積極的に積み立てを行う。

東脊振温浴施設維持整備基金:長寿命化に伴う大規模改修及びリニューアル経費として、毎年、一定額を確保していく予定。